



# みがく きりひらく むすぶ



府立井手やまぶき支援学校

学校だより

令和5年3月8日 No.6

とても役に立っているよ ありがとう!

さあ、きりひらいていけ! ~卒業おめでとう~

三寒四温とはよく言ったもので、少しずつ温かい季節となってまいりました。  
もうすぐ、やまぶきや桜の花が咲き誇ることでしょう。

本日は高等部の卒業証書授与式。

高等部三年生の皆さん、そして御家族の皆さま、誠におめでとうございます。

この三年間はコロナ禍で何かと制約がある学校生活でありました。それでも、様々に体験を積み、学んで、  
そのたびに何かしら得て、成長してくれました。

まさしく学校教育目標の「みがく むすぶ きりひらく」三年間であったと思います。

本校は開校年の一年でしたので、卒業生の皆さんにとっては一年のみということになりましたが、栄えある一期生、新しい学校・環境ということ自体からもたくさん得てくれたと思っています。

そして、来週は小学部六年生と中学部三年生も巣立っていきます。

先日、京都府教育委員会主催で実施されている「京しごと技能検定」四種目（清掃、接客、パソコン、介護）のうちの最後の種目「介護（ベッドメイキング）」が実施されて、本校からも三名の高等部生が果敢に挑みました。

世の中に「検定」というものはあまがありますが、おそらく、これまでそういったものにチャレンジした経験はほとんどなかったことでしょう。他校生やたくさんの人の前で技能を披露するわけで、緊張もしたことでしょう。

見ていて思ったのですが、その技能アップはもちろんのことですが、何のためにそれをしているのかということ、これが大切です。

刷毛（はけ）で、ベッドのほこりや髪の毛を掻き取る、シーツは寝る方が寝やすいように、しわ一つないように敷く。大きなシーツをマットに挟み込むというなかなか難しいその技能は「相手の方を思いやって」の技能でした。

小中学部も含めて、卒業していく子どもたちはどのような職業に就いていくことでしょう。どのような職業であったとしてもそれはどなたかの「役に立っている」そんなことを感じながら働く大人になっていったほしいと思ったことです。

もちろん、まだ幼い子どもたちは、職業までいきませんが、そこにもつながっていくような、力を十分にらせるような「みがき」を目指してほしいと思います。

最後になりましたが、開校年のこの一年、皆様に御支援いただきましたことを感謝申し上げますとともに、少し早いですが、来年度も益々の御支援をよろしくお願い申し上げます。そして、繰り返しになりますが、卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

校長 丸岡 恵真

## 4月の主な行事予定

| 日  | 曜 | 行事等          | 下校           |
|----|---|--------------|--------------|
| 10 | 月 | 1学期 始業式      | 半日ダイヤ(11:30) |
| 11 | 火 | 入学式          | 半日ダイヤ(11:30) |
| 12 | 水 | 給食開始         | 水曜ダイヤ(13:30) |
| 19 | 水 | アセスメント週間     | 水曜ダイヤ(13:30) |
| 20 | 木 | アセスメント週間     | 水曜ダイヤ(13:30) |
| 21 | 金 | アセスメント週間     | 水曜ダイヤ(13:30) |
| 29 | 土 | 学校公開【5/1 代休】 | 平日ダイヤ(15:00) |

下校時刻に  
御注意してぶ~



※令和5年度の行事予定はホームページにも掲載しております。

